

文教常任委員会行政視察（概要）

1 視察日

平成29年5月15日（月）～16日（火）

2 視察項目（視察都市）

- ・スポーツ合宿誘致の取り組みについて（佐賀県鹿島市）
- ・歴史文化遺産の保存・活用及び価値の発信等の取り組みについて（長崎県長崎市）

3 参加委員

委員長：長谷川浩、副委員長：米川勝利

委員：大嶺さやか、福丸孝之、大村卓司、稲葉通宣、山下慶喜

4 調査概要

良好な運動環境を備えた施設群を有する鹿島市では、平成23年度からスポーツ合宿の誘致事業を始めた。取り組みに当たっては実行委員会を組織し、合宿団体を総合的にサポートする体制を構築、また、合宿団体への交付金事業も実施している。加えて、合宿団体には市民との交流事業の実施を義務づけており、市民にもスポーツに触れる機会を積極的に提供できる制度としている。こうした取り組みは、市民のスポーツ競技への興味や関心を高めるなど、多くの波及効果を生んでいる。

長崎市では、文化遺産等の適切な保存、活用を図るために、長崎市歴史文化基本構想を策定した。本構想の特徴は、歴史上または芸術上価値が高い、あるいは人々の生活の理解に必要な全ての歴史的、文化的、自然的な遺産を対象としている点で、文化遺産を単体ではなく一体的に保存、継承、活用ができるような制度としている。また、歴史文化を継承するための人材育成にも力を入れており、市民との協働によるさまざまな取り組みが進められている。



5 委員長所感

鹿島市のスポーツ合宿誘致事業については、産官学の連携が充実した取り組みであり、既存の施設を有効活用して新しい事業に取り組むことはとても重要に思われる。本市でも産官学の連携を深める点からも、あらゆる角度から研究を進めるべき課題であると感じた。

長崎市の取り組みでは、長崎市歴史文化基本構想の策定手法はとても参考になるものであった。また、歴史文化遺産を保存するだけでなく、一般への公開にも力を入れた取り組みであり、本市においても、施設整備も含めた取り組みを推進することが必要だと感じた。